

平成31年教育委員会 第1回定例会

1 日 時 平成31年1月31日(木) 13時30分開会 15時33分開会

2 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室

3 出席委員

| | |
|------|---------|
| 教育長 | 林 秀 樹 |
| 教育委員 | 笹 谷 純 代 |
| 教育委員 | 小 澤 倭文夫 |
| 教育委員 | 荒 田 純 司 |
| 教育委員 | 常 見 幸 司 |

4 欠席委員 なし

5 出席職員

| | |
|-----------------------|---------|
| 教育部長 | 飯 田 敬 |
| 教育部次長 | 須 藤 慶 子 |
| 学校教育支援室長 | 中 島 正 人 |
| 学校教育支援室主幹(指導担当) | 大 山 倫 生 |
| 学校教育支援室主幹(学務担当) | 成 田 和 陽 |
| 学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) | 佐々木 雅 一 |
| 教育総務課長 | 笹 山 貴 史 |
| 施設管理課長 | 伊 藤 雅 浩 |
| 生涯学習課長 | 海 谷 昌 弘 |
| 生涯スポーツ課長 | 丸 田 健太郎 |
| 図書館副館長 | 石 塚 則 子 |
| 教育総務課総務係長 | 安 藤 英 明 |
| 教育総務課総務係 | 会 沢 秀 紀 |

6 傍聴人 なし

7 議 題

議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案

協議第1号 第7次小樽市総合計画基本計画について

報告第1号 小中学校の学校再編について

報告第2号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

その他 ・市議会第4回定例会について

・寄附採納について

8 議 事

林教育長 ただいまから、教育委員会第1回定例会を開会いたします。
本日の会議の議事録署名委員に、笹谷純代委員を御指名させていただきます。
はじめに、お諮りいたします。協議第1号「第7次小樽市総合計画基本計画について」、及び報告第2号「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」は会議規則第13条第1項第5号により、それぞれ非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 では、そのように進めさせていただきます。
早速議事に入りたいと思います。議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案について、説明をお願いします。

議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案

図書館副館長 議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案につきまして、御説明いたします。
この議案を提出いたしましたのは、市立小樽図書館条例第7条の規定により設置しております図書館協議会委員10名のうち、1名の委員に交代がありましたので、この後任を任命するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、2枚目が旧委員の一覧表になっており、交代する委員を太字で表記しております。

交代する委員であります、小樽市社会教育委員 ^{あだちくみこ}安達久美子氏の任期が満了となり社会教育委員を退任されたため、後任として子育て支援サークル「ホワイトウイング」代表 ^{まつなみ}松並るみ氏を委員に任命したいと考えております。

なお、任期は、前任者の残任期間である平成31年7月25日までとなります。

松並氏は、楽しい子育てのために役立ちたいと、平成15年に結成された子育てサークル「ホワイトウイング」の代表を務め、親子向けのイベントの開催や、他の団体と協力し合った活動を行うなど、小樽の子育て応援に活躍されています。平成24年10月4日に小樽市社会教育委員に就任されました。

以上、本任命案につきまして、御審議のほどよろしく願いいたします。

林教育長 それでは、本件に関しまして、御質問・御意見等ございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは本件を了承したいと思います。
続きまして、報告第2号 小中学校の学校再編について、説明をお願いします。

報告第2号 小中学校の学校再編について

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当） 報告第2号 小中学校の学校再編について報告いたします。前回の定例会以降の状況についてとなっております。報告第1号を御覧ください。地区別懇談会関係です。

豊倉小学校については、現在、児童数の減少及び学級数の減少により、教頭や養護教諭が配置されておらず、次年度以降、現5年生が卒業後、さらに児童数の減少が見込まれることや、保護者会や学校評議員会で統合に関する意見をいただいていることから、平成31年1月24日に地区別懇談会を開催いたしました。教育委員会からは、懇談会配布資料に沿って、豊倉小学校の現状と前回懇談会以降の経緯について説明を行いました。配付資料を添付しておりますので、御覧ください。

「1 豊倉小学校の現状について」は、平成30年度の学校規模を記載しており、児童数が8人で学級数は複式2学級となっていること、児童のいない学年があるため、変則複式になっていることを説明いたしました。

次に「2 前回懇談会以降の経緯について」、豊倉小学校は、平成29年7月に学校規模が前年度と大きく変わったことから、懇談会を開催し、学校の状況を保護者や地域の皆様に説明させていただきましたが、その後も保護者や学校評議員の皆様から学校規模の推計や再編の考えについて説明を聞きたいとの話があり、保護者会に2回、学校評議員会に1回出席しておりますので、その概要について御説明いたしました。別紙の「2 前回懇談会以降の経緯について」を御覧ください。

平成30年1月26日の保護者会では、教育委員会からは、平成29年度以降の学校規模の推計と、学校再編については、適正化基本計画前期の点検を行い平成30年度からの後期の進め方を検討することとしているため、豊倉小学校の再編もその中で検討することになる旨説明いたしました。

保護者の皆様からは、統合に関する意見としまして、「体育の授業や遠足などは朝里小学校と一緒にするなど交流してほしい」、「朝里小学校で思いきり遊ばせたい気持ちもある」、「多くの人数と交流する場が必要」、「集団の中での動きも学ばせたい」といった児童交流に関する意見や、「学校の小規模化に伴い、児童が減りすぎている」、「今の人数で学校行事を行うのは大変である」、「現状の学校運営は平成29年度の4年生が残る平成31年度までが限界」、「平成32年度に朝里小学校と統合すべき」といった意見をいただきました。

次に平成30年7月20日の保護者会では、教育委員会からは、平成30年度以降の学校規模の推計と、学校再編については、適正化基本計画前期の点検結果に基づき今後の進め方を検討していることを説明するとともに、1月の保護者会で保護者の皆様から示された、平成32年度に朝里小学校と統合する考えに変わりはないかを確認しました。

保護者の皆様からの統合に関する意見としましては、「現在の5年生4人が卒業した後は児童が更に減少するため、平成32年度に朝里小学校と統合すべき」、「平成32年度に在校生として残る児童、保護者が存続を望まず、転校となれば豊倉小学校は自然消滅となる。我々はギリギリの状況だと認識している」、「児童がいなくなり、結果、閉校となるのではなく、

きちんとした形で閉校したい」といった意見をいただきました。

次に平成30年11月21日の学校評議員会では、教育委員会からは、平成30年度以降の学校規模の推計と、学校再編については、適正化基本計画前期の点検結果に基づき今後の進め方を検討していること、保護者からは、児童の減少が見込まれるため、平成32年度に朝里小学校と統合すべきとの意見が出ていることを説明いたしました。

評議員の皆様からの統合に関する意見としましては、「残したい気持ちはあるが、子供たちが平等に教育を受けられるのかを考えると難しい。今後、急に子供が増えることは考えにくい」、「子供たちの教育を第一に考え、早く統合を決めることが必要」、「子供たちは朝里小学校との交流を楽しんでいる」、「この人数では今までの学校行事を行うのは負担もあり困難である」といった子供の教育環境に配慮する意見や、「保護者は早く決めて欲しいと考えている。すぐに統廃合することはできない、今後の予定に取り掛かっていかなければ時間がない」、「結論を出してもらわなければ、統合に向けた準備もできないので早く結論を出してほしい」といった意見があり、最終的には「評議員としても保護者と同様の意見であり、豊倉小学校は平成31年度末で閉校、平成32年度に朝里小学校と統合すべき」との意見をいただきました。

懇談会では配布資料の説明後、教育委員会としても、豊倉小学校の教育環境の低下を防ぐためには朝里小学校との統合が必要と考えており、保護者や学校評議員からも同様の意見をいただいていることから、豊倉小学校については平成31年度末で閉校し、平成32年4月に朝里小学校と統合する考えであることについて説明いたしました。

それでは最初の報告第1号のペーパーにお戻りください。懇談会での主な質問や意見についてですが、「今後、統合や閉校に向け、閉校式の準備などいろいろなことが進められ、教職員や保護者が多忙になることが予想されるので、子供たちの学校生活に影響が出ないようにお願いしたい」との意見をいただきまして、私どもからは、「教育委員会ではこれまでも他校の学校統合や閉校に関わってきておりノウハウもあるので、協力しながら進めていきたい」とお答えしております。また「閉校後の豊倉小学校の施設はどうなるのか」について御質問がございましたので、「学校が閉校になった場合、施設の跡利用について検討していくこととなるが、本市では検討にあたっての基本的な考え方を定めており、まず公共施設として活用できるのか検討し、その見込みがない場合、民間等で活用してもらうことを検討する。いずれの場合でも地域の皆さんと意見交換し、要望等伺いながら進めていくこととしている」ことを御説明しております。最終的には保護者や地域の皆様からは、豊倉小学校を平成31年度末で閉校し平成32年4月に朝里小学校と統合するという教育委員会の考えに御理解をいただきましたので、今後、統合協議会を設置し、統合に向けた諸課題を整理していくことや閉校に向け閉校記念事業の準備を進めていくことを御説明いたしました。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの報告に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いいたします。

笹谷委員 児童数が今現在8人ということですがけれども、家庭実数はわかりますか。

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当） 現在の家庭実数は、30年度は7家庭でございます。

笹谷委員 今現在のいろんな学校行事ですが、いろいろ先生方は本当に大変で、保護者の皆さんもそう（大変）ですし、保護者だけでも足りず、地域の方も協力してというような場面をよく見かけます。そこに加えて新年度、閉校に向けてということで心配される地域の方からの御意見もあるわけなので、本当に手助けできるところは手助けしていただいて、地域ももちろん協力していただけるものと思いますけれども、何より、やはり子供たちが、豊倉小での最後の学校生活ということになりますので、その辺り、是非協力のほう、よろしく願います。

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当） 私どもといたしましても、先ほど申し上げたとおり、何校か閉校の事業に携わらせていただいておりますので、できる限り御協力したいと考えております。

林教育長 よろしいでしょうか。

笹谷委員 はい。

林教育長 ほかにございませんか。よろしいですか。
このあとの議会等の関係、どういうふうに進めていくのですか。

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当） 今後につきましては、2月7日に朝里小学校のPTAの役員会がございますので、そちらのほうで、今回豊倉小学校の懇談会で皆様に御理解いただいたことをお伝えしまして、その後保護者の皆様に、どういう形でお知らせするかは今考えているところなのですが、お知らせし、統合に向けて準備を進めていきたいと考えております。

林教育長 議会への報告はどのような形ですか。

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当） 議会への報告につきましても、朝里小学校の説明が終わりましたら（報告）するような形になりますし、朝里小学校への説明が終わりましたら、統合実施計画を作成するという形になりますので、それができたらこちら（教育委員会定例会及び議会）で御報告させていただきたいと考えております。

林教育長 よろしいでしょうか。

各委員 （なし）

林教育長 それでは、そのような形で進めていただきたいと思います。以上をもちまして報告を終了いたします。

それでは、その他の報告に入ります。まず、市議会第4回定例会について、報告をお願いいたします。

その他 市議会第4回定例会について

教育部長 小樽市議会第4回定例会につきまして御報告いたします。

まず、お手元の資料の表紙をめくっていただき目次を御覧ください。

平成30年第4回定例会は、12月4日に本会議が開催され、その後、12月10日から12月12日にかけて代表質問及び一般質問、12月13日から12月18日にかけて予算及び基本構想特別委員会、12月19日に総務常任委員会、12月20日に学校適正配置等調査特別委員会が開催されまして、12月26日の本会議をもって終了しております。

以下、教育委員会に係る質疑の概要について報告いたします。

まず、代表質問です。1ページ、自民党の横田議員から、「海上技術学校について」ということで、小樽海上技術学校に関する情報に関して、「教育について」ということで、学校再編などに関して質問がありましたが、この中で、議員より「児童生徒の減少をはじめとする状況の変化が著しいことを踏まえ、今後の児童生徒数を見通した中で新たな考えを整理すべきではないか」との御質問があり、教育長より、「現適正化基本計画による学校再編を見直し、新たな学校再編の考え方について検討してまいりたい」と答弁しております。また「松ヶ枝中学校の対応策として旧最上小学校への移転を検討してはどうか」との御質問がございまして、「旧最上小学校への移転などについて早急に検討する必要があるものと考えている」と答弁しております。また、「全国学力・学習状況調査について」ということで、調査結果等について御質問がございました。

次に、5ページ、共産党の酒井隆裕議員から、「市長の政治姿勢について」ということで、新市民プールの建設に関して、「教育について」ということで、学校統廃合などに関して、「就学援助について」ということで、入学準備金の前倒しについて、御質問がありました。

次に、7ページ、公明党の松田議員から、「防災について」ということで、小中学校の防災教育に関して、また、「学校施設の耐震化について」ということで、学校耐震化の進め方などに関して、それぞれ質問がございました。この中で、議員より「児童生徒の安全・安心を考慮し、早期に学校施設の耐震化を図るためにも、再編と切り離して取り組む必要があるのではないか」との御質問があり、教育長より「耐震化は早急な対応が必要なことから、今後の耐震化の進め方について検討を行い、市長部局と協議をしたい」との答弁をしております。

詳細は1ページから9ページに記載のとおりとなっております。

次に、一般質問です。10ページ、共産党の高野議員から、「学校給食について」ということで、残食調査の実施や米飯給食回数増加などに関して、次に、15ページ、公明党の斉藤議員から、「小樽市文化芸術振興基本計画の改訂について」ということで、現計画の成果などに関して、次に、17ページ、立憲民主党・市民連合の佐々木議員から、「歴史文化関係の取組について」ということで、旧日本郵船小樽支店の保存修理工事の概要について、歴史的価値の高い建造物の重要文化財への指定や、伝統的建造物群保存地区の選定などに関して、それぞれ質問がございました。

詳細は10ページから21ページに記載のとおりとなっております。

次に各委員会の質疑についてですが、まず、22ページからの、予算及び基本構想特別委員会では、7名の委員から質問がございました。

最初に、22ページ、共産党の酒井隆裕委員からは、「学校統廃合について」、次に、22ページ、立憲民主党・市民連合の佐々木委員からは、「歴史的建造物群の保存について」、次に、23ページ、共産党の高野委員からは、「総合計画の学校教育について」、「学校給食について」、「学校のスキー授業について」、次に、31ページ、公明党の松田委員からは、「学校施設の耐震化について」、次に、32ページ、公明党の千葉委員からは、「特別支援学級開設等の経費について」、次に、33ページ、自民党の中村吉宏委員からは、「学校給食について」、次に、34ページ、公明党の斉藤委員からは、「第7次総合計画と文化芸術振興基本計画の改訂について」、それぞれ質問が、市長部局と教育委員会にございました。以上の詳細は22ページから36ページに記載のとおりとなっております。

次に、37ページからの、総務常任委員会では、教育委員会から、「小樽市歴史文化基本構想の進捗状況について」、「小樽市子どもの読書活動推進計画について」、「議案第6号 小樽市資金基金条例の一部を改正する条例案について」それぞれ報告を行い、また、総務部から「国立小樽海上技術学校の存続に向けた取組状況について」報告があったほか、5名の委員から質問がございました。

最初に、37ページ、自民党の濱本委員からは、「学力向上について」、次に、39ページ、共産党の酒井隆裕委員からは、「国立小樽海上技術学校の存続に向けた取組について」、「図書館における図書の貸出履歴や予約記録などへの警察への情報提供について」、次に、42ページ、立憲民主党・市民連合の佐々木委員からは、「学校統廃合について」、次に、45ページ、公明党の斉藤委員からは、「子どもの読書活動推進計画について」、次に、47ページ、無所属の安斎委員からは、「学校給食について」、それぞれ質問が、市長部局と教育委員会にございました。以上の詳細は37ページから48ページに記載のとおりとなっております。

次に、49ページからの、学校適正配置等調査特別委員会では、教育委員会から、「今後の学校再編の進め方について」ということで、「現適正化基本計画に基づく学校再編を見直し、地域での学校の役割などに留意しつつ、将来を見据えた学校再編に関する基本的な考え方をまとめる」、「学校再編の見直し期間中であっても、児童生徒数の減少により学校運営に支障が生じたり、老朽化等による教育環境の悪化が懸念される場合などは個別の対応を行うこと」、「学校施設の耐震化等については学校再編と切り離して検討を進めることとし、今後、市長部局と協議を行うこと」の以上3点を報告したほか、「学校再編に向けた取組状況について」ということで、豊倉小学校に関して1月24日に地区別懇談会を開催することや、松ヶ枝中学校を旧最上小学校に一時移転することについて、市長部局の「学校再編に伴う跡利用検討委員会」に対し検討を依頼する旨を報告いたしました。また、総務部からは、「閉校後の学校跡利用の状況について」報告があり、その後7名の委員から質問がございました。

まず、49ページ、自民党の山田委員からは、「学校再編に向けての考え方について」、次に、50ページ、自民党の酒井委員からは、「後期計画について」、次に、51ページ、自民党の中村吉宏委員からは、「学校再編の今後の在り方について」、「松ヶ枝中学校の移転について」、次に、53ページ、共産党の酒井隆裕委員からは、「今後の学校再編の進め方について」、

「学校跡利用について」、次に、56ページ、共産党の新谷委員からは、「報告を聞いて」ということで、豊倉小学校の対応などに関して、次に、59ページ、立憲民主党・市民連合の高橋龍委員からは、「学校再編の見直しについて」、「松ヶ枝中学校の移転について」、「学校跡利用について」、次に、64ページ、公明党の千葉委員からは、「小中学校再編の見直しについて」、「陳情第18号（最上小学校跡を新松ヶ枝中学校としての活用方）について」、「耐震化の進め方について」、「報告を聞いて」ということで、学校跡利用の検討の進め方に関して、次に、67ページ、公明党の斉藤委員からは、「報告を聞いて」ということで、望ましい学校規模に関して、それぞれ質問が、市長部局と教育委員会にございました。以上の詳細は49ページから68ページに記載のとおりとなっております。

報告は、以上です。

林教育長 ただいまの報告に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。
続きまして、寄附採納について、報告をお願いいたします。

その他 寄附採納について

教育総務課長 それでは、寄附採納について、御報告を申し上げます。

寄附が1件ございます。内容としましては、市内在住の武山玲子様から図書9冊、10,000円相当をいただいたものでございまして、武山様は図書館の利用者で、以前からたくさんのお本を借りて楽しませてもらい、また憩いの場としても利用しており、日ごろの感謝の気持ちをこめて図書充実のために役立ててくださいという趣旨でいただいたものでございます。

以上でございます。

林教育長 本件に関しまして、御質問等ございましたら、お願いいたします。よろしいですか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、ありがたくちょうだいしたいと思います。本件を終了させていただきます。
それでは、ただいまから非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴者の皆様におかれましては、御退席をよろしくお願い申し上げます。

<非公開の審議開始>

協議第1号 第7次小樽市総合計画基本計画について

教育総務課長から、第7次小樽市総合計画基本計画について説明し、林教育長、常見委員から質問が、笹谷委員、小澤委員、荒田委員から意見があったほか、全委員による協議が行われた。

報告第2号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

学校教育支援室主幹（指導担当）から、平成30年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査結果について説明し、笹谷委員、小澤委員から質問が、笹谷委員、林教育長から意見があったほか、全員が了承した。

<非公開の審議終了>

林教育長 以上をもちまして、教育委員会第1回定例会を終了いたします。